

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

令和元年度第3回地域ケア推進会議を開催！

12月24日小諸市役所にて、今年度第3回目の地域ケア推進会議・生活支援体制推進会議を開催しました。

今回は、平成29年度に地域ケア推進会議で取り上げた『認知症介護者家族の不安や負担を軽減する対応策』についての見直し、今年度の会議で継続して検討している『身寄りのない住民の身元保証』については、目指す地域の姿の確認、『こもろ愛のりくんを含めた移動手段』についてはグループに分かれて課題解決のための取り組みについてアイデアを出し合いました。



目指す地域の姿に向かって取り組みを！！ 【こもろ愛のりくんを含めた移動手段】



生活支援コーディネーターが中心となり実態把握・検証を進めていた『こもろ愛のりくんを含めた移動手段』について10月の推進会議で以下の3点の地域課題を確認しました。

【地域課題】

- ①愛のりくんは運行する側と利用する側に理解のズレがある
- ②愛のりくんはちょっとした支援※が必要な高齢者も多く利用している※予約や登録・乗降
- ③ぎりぎりまで自分で運転をしており、公共交通の利用に慣れていない

今回の推進会議では、【目指す地域の姿】を確認し、地域課題解決と目指す地域の姿実現に向けた取り組みのアイデアを『医療関係』『介護関係』『住民代表』『行政』の4グループに分かれて出し合いました。

【目指す地域の姿】

- 誰もが行きたい場所に行くことを移動手段がないことを理由にあきらめなくても良い地域
- ・高齢者ができるだけ長く運転ができる
- ・適切な時期に運転免許の返納がスムーズにできる
- ・住民が移動手段の課題を予め自分事として考えられる
- ・自分でくるまを運転する以外の選択肢があり、本人が使いこなせる

『車両販売店に協力してもらって安全運転サポート車を試乗する機会を作っては』『地区で外出の機会がある場合、愛のりくんを利用してみる』『地域の介護予防教室でテーマとして取り上げよう』など、それぞれの立場から様々なアイデアが出されていました。今回出された取り組みアイデアは、各機関・団体に持ち帰り、実践について検討いただき、その結果を次回の推進会議で確認します。



目指す地域の姿を確認！！

【身寄りのない住民の身元保証】



高齢福祉課と地域包括支援センターが中心となり実態把握・検証を進めていた『身寄りのない住民の身元保証』について10月の推進会議で以下の地域課題を確認しました。

【地域課題】

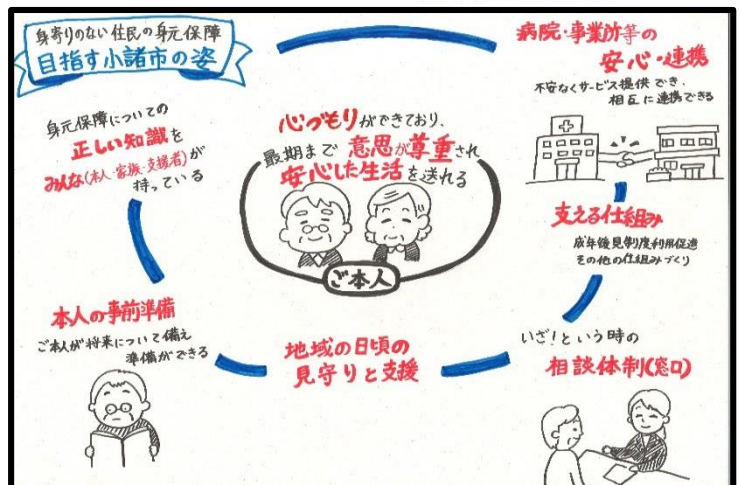
医療・介護等様々な場面では「身元保証」が求められる。

一方で「身元保証の役割を果たせる人がいない」市民が一定数存在している。

このギャップが地域課題であり、本人・支援者双方に不安がある

今回の推進会議では、事前に推進会議委員の皆さんから寄せられた意見を基に作成した【目指す地域の姿】の図を確認しました。『心づもり』ができていご本人を中心に地域の見守りや相談・支援体制、病院・

【目指す地域の姿】



事業所の連携、身元保証についての意識啓発などの体制が整っています。

次回の推進会議では、地域課題解決と目指す地域の姿実現に向けた取り組みを検討し、実践に繋がります。

『人生会議がわかる講演会』が開催されました

～自分のために、家族のために“もしものこと”について考える～

2月8日市役所にて、推進会議のメンバーである小諸北佐久医療・介護連携推進協議会が主催し『人生会議がわかる講演会』が開催され、多くの小諸北佐久地域の住民、医療・介護関係者が参加しました。

まずは参加者が4人グループになり、「もしバナゲーム」を行いました。

このゲームは余命わずかの想定で自分が大切にしたいことに優先順位を付け『痛みがない』『家族と一緒に過ごす』『いい



続いて、東京慈恵会医科大学附属柏病院の三浦靖彦先生より、「自分が本当に大切にしているものに気付き、本人が望む人生を最期まで過ごすために、ACP(アドバンスケアプランニング)が大切であり、普段から家族や友人と話し



共有しておくことが大切。現時点・慢性の病気になった時・最終段階とその都度『何を大切に生きたいか』を考える機会を持ってほしい』との話がありました。



会場はゲームの感想や先生への質問などが次々飛び出し、参加者140名の皆さんの熱気に溢れていました。

人生だったと思える』など重病のときや死の間際に「大事なこと」として人がよく口にする言葉が書かれているカードを選ぶゲームです。最後に自身が選んだカードとその理由を披露し、グループ内で共有しました。

講師の三浦先生もゲームに参加☆

【編集後記】『人生会議がわかる講演会』で行った「もしバナゲーム」、初めましてのメンバーでも自然と会話が弾み、自分の生き方を考える良いきっかけになりました。私が選んだ5枚のカードの1枚は『大切な人とお別れをする』でした。